

Bluetooth®機器を設定する

登録した Bluetooth®機器をマルチメディアでどのように使用するか設定できます。

□ 知識

- 設定内容は個別の Bluetooth®機器ごとの設定になります。
- Bluetooth®オーディオ再生中にハンズフリー電話を選択した場合、音声が途切れることがあります。
- Bluetooth®機器の機種によっては、Bluetooth®機器の操作が必要になります。
- 緊急通報中は、Bluetooth®機器を選択できません。
- 運転中は設定を選択できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては、設定を選択できません。

自動転送の設定操作

- 1 メインメニューの[]にタッチします。
- 2 [Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。
- 3 サブメニューの[Bluetooth]にタッチします。
デバイスリストが表示されます。
 - デバイスリストのアイコンをタッチすると、該当の機能に接続できます。
- 4 設定する Bluetooth®機器の[]にタッチします。
- 5 各項目を設定します。



設定項目	内容
[Apple CarPlay]	Apple CarPlay 機能の ON/OFF を設定できます。 (1)(2)
[Android Auto]	Android Auto 機能の ON/OFF を設定できます。 (1)(2) Android Auto を使用中に設定を OFF にすると、 [Bluetooth 電話]設定が ON になります。
[Bluetooth 電話]	ハンズフリー電話機能の ON/OFF を設定できます。 (1)(2)

設定項目	内容
[Bluetooth オーディオ]	オーディオ機能の ON/OFF を設定できます。(1)(2)
[サブ機器として設定]	サブ機器に設定できます。 本設定は、ドライバーが設定されている状態で、HFP に対応した Bluetooth®機器がメイン機器に設定されていない場合に使用できます。サブ機器に設定するには、[サブ機器として設定]にタッチします。Bluetooth®機器を接続する際の優先順位は、メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい機器です。
[サブ機器設定の解除]	サブ機器から解除できます。
[削除]	Bluetooth®機器の登録を削除できます。
[切断]	マルチメディアと Bluetooth®機器との接続を切断できます。 接続していた機能は OFF になります。再度機器を接続しても、同じ機能へ自動接続できるとは限りません。
「共通設定」	こちらの項目より設定します
[連絡先と通話履歴の自動転送]	連絡先や履歴をマルチメディアシステムに自動転送する機能を ON/OFF します。 設定を OFF から ON に変更すると、電話帳の自動転送が開始されます。
[名・姓の順で表示]	連絡先に登録してある名称の表示を名・姓の順に変更できます。
[姓・名の順で表示]	連絡先に登録してある名称の表示を姓・名の順に変更できます。
[通話履歴の削除]	通話履歴を削除できます。 [連絡先の自動転送]が OFF に設定されているときに表示されます。
「音設定」	
[着信音]	ハンズフリー電話の着信音を次のように設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● [着信音 1]／[着信音 2]：既存の着信音を設定します。 ● [機器]：携帯電話で設定されている着信音をマルチメディアの着信音として設定します。 ● [音声でお知らせ]：着信相手の名前を音声でお知らせする設定にします。
[着信音量]	スライダーを移動して、着信音量を調整できます。(3)
[受話音量(スピーカー)]	スライダーを移動して、受話音量を調整できます。(3)

-
- (1) Bluetooth®機器が本機能を使用できる場合にのみ表示されます。該当の機能をON/OFFすると、関連した機能が表示／非表示またはON/OFFされます。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。同様に、Bluetooth®接続で電話やオーディオの機能を使用している場合は、Apple CarPlay/Android Auto を使用できません。
 - (2) OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。
 - (3) 携帯電話の機種によっては、携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動する場合があります。

連絡先データの転送

連絡先は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録できます。接続されている携帯電話に対応した連絡先のみ表示できます。この連絡先は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。接続された電話機ごとに連絡先は管理されます。

この機能は、自動転送（PBAP）に対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話が自動転送（PBAP）に対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。

連絡先を自動転送（PBAP）するには、Bluetooth® 設定で [連絡先と通話履歴の自動転送] を ON にする必要があります。

□ 知識

- 連絡先データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
 - 1つの連絡先に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、マルチメディアシステム側の連絡先には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
 - 電話番号と同時に名称も転送されます。機種によっては記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
 - 通常はシークレットメモリーの読み出しありません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります)
 - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
 - マルチメディアシステム側の連絡先で表示される電話番号の種別は、転送元の情報をもとに自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになります。
 - 連絡先データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。詳細は接続する携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 一括転送可能な機種は、連絡先データを転送する際、次のような特徴があります。
 - 転送には 10 分程度かかる場合があります。
 - 連絡先データ転送画面が表示されているときでも他画面に切りかえることができます。この場合、連絡先データ転送は継続されます。
- 連絡先データ転送中にパワースイッチを OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、ハイブリッドシステムを始動して、再度転送操作をやりなおしてください。
- 次の場合、転送中の連絡先データは保存されません。(転送された一部のデータも保存されません。)
 - マルチメディアシステム側のメモリー容量により途中で自動転送（PBAP）が終了したとき。
 - 何らかの原因で自動転送（PBAP）が中断されたとき。

- マルチメディアシステム側の連絡先データを携帯電話に転送することはできません。
- 連絡先データ転送中は、Bluetooth®オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります)
- 転送するときは、マルチメディアシステムを起動した状態で行ってください。
- 自動転送（PBAP）機能により連絡先、履歴をマルチメディアシステムに転送できます。
- 自動転送（PBAP）で連絡先データを転送したときに、機種によっては携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 自動転送（PBAP）で連絡先を転送する場合、携帯電話の連絡先の共有設定を有効にする必要があります。
- 自動転送（PBAP）が開始されない場合、他の機能をすべて終了させると自動転送が開始されることがあります。
- 連絡先の画像データを転送するには、Bluetooth®設定で**[連絡先と通話履歴の自動転送]**をONにする必要があります。